



©少年写真新聞社 Sedoc

2015年度 岐阜教組 養護教員部学習会

講演 子宮頸がんワクチンの問題点とこれから
—薬害取材の経験から—

講師 ^{くまもと} 隈本邦彦さん（江戸川大学教授 元NHK 記者）

【講師紹介】

1980年上智大学卒業後、NHKに記者として入局。厚生省（当時）担当や医療学術担当として医療分野を中心に取材。さまざまな薬害事件を追ってきた。

現在は江戸川大学メディアコミュニケーション学部教授として教鞭をとるかたわら、NGO「薬害オンブズパースン会議」メンバー、日本科学技術ジャーナリスト会議理事、産科医療保障制度原因分析委員などの活動を行っている。

著書「医療・看護事故の真実と教訓」（ライフサポート社）、「ナースが学ぶ患者の権利講座～アドボケイトになるための25章～」（日本看護協会出版社）など。

日時 平成28年3月12日（土） 13:00～15:30

場所 可茂教育会館（加茂郡川辺町西栃井字広瀬 749-1）

☎ 0574-53-6011 ※カーナビ等にご利用ください

※駐車場に限りがあります。可能な方は乗り合わせてお越しください。

2010年からほとんどの自治体で公費負担が可能となり、無料接種となった子宮頸がんワクチン。しかし、その副反応により健康被害を受け、苦しんでいる思春期の子どもたちがいます。

スモン、MMR（新三種混合ワクチン）など、過去の薬害取材経験を踏まえながら、子宮頸がんワクチンの問題点をお話ししていただきます。子どもの健康をまもる私たち養護教諭が、今後どのようなスタンスでいるべきなのかを考える機会にしたいと思います。

周囲の人を誘って、

2015年度のまとめにみんなで学習しましょう！



©少年写真新聞社 Sedoc

【問い合わせ先】 岐阜県教職員組合養護教員部 Tel.058-215-7301